

めぐりあい JAXA 一ながのとながめ

会期: 2021 年 6 月 19 日 (土) — 8 月 15 日 (日) 会場: 展示室 1

新美術館では、絵画や彫刻だけではなく、映像作品や写真といったジャンルについても積極的に紹介していきます。新しい取り組みとなる本展では、近年、著しい技術進歩を遂げ、また多くの映像作家、写真家のインスピレーションの源となっている宇宙観測技術をテーマに、宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の人工衛星「だいち」が撮影した、長野県の高精細画像を元にした映像作品を関連資料とともに展示します。宇宙から長野県を俯瞰する映像体験をお楽しみください。



陸域観測技術衛星「だいち」 《長野 2007年》(2021)

●「宇宙航空研究開発機構(JAXA)」とは?

2003年に宇宙科学研究所 (ISAS)、航空宇宙技術研究所 (NAL)、宇宙開発事業団 (NASDA) の3機関が統合して 誕生した、宇宙開発を支える組織。2015年4月に国立研究開発法人となる。研究から開発、利用にいたるまで、宇宙に関することを一貫して行う。

●人工衛星「だいち (ALOS)」とは?

2006 年に打ち上げられた地球観測衛星(陸域観測技術衛星)。高精度の環境測定を行う事を目指し、地図作成や観測、災害状況の把握や資源探査など、「だいち」によって記録されたデータは幅広い分野で利用されている。

みどころ

- 人工衛星「だいち」が捉えた長野県の「ながめ」を、迫力ある映像作品で体験
- 空の「ながめ」や上空からの「ながめ」を国内外の映像作品から紹介



展覧会概要

『めぐりあい JAXA―ながのとながめ』

会 期: 2021年6月19日(土)~8月15日(日)

会 場: 長野県立美術館 展示室 1

主 催: 長野県、長野県立美術館

共 催: 長野県教育委員会

協力: 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、

キヤノンマーケティングジャパン株式会社、

イメージフォーラム

共同キュレーション: 澤隆志

展覧会担当: 松井正

観 覧 料: 無料



₩ 長野県立美術館 🛣 🗒 🗴

「めぐりあい JAXA―ながのとながめ」 DM

関連イベント (要申込・無料)

Screening&Talk

人工衛星の開発に携わる JAXA 職員と本展キュレーターによるトークを交えて、特別プログラムの上映を行います。

①日 時 2021年8月7日(土)14:00~

②会 場 展示室 1

③講師 度會英教 (JAXA)、澤隆志 (インディペンデントキュレーター)、松井正 (当館学芸員)

④定 員 30名(事前申込・先着順)

⑤申込方法 7月5日より当館ホームページに設置される応募フォームよりお申し込みください。 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、イベントの開催を中止もしくは延期する場合があります。

同時開催

●長野県立美術館メイキングドキュメント つながる美術館 宮崎浩とランドスケープ・ミュージアム 会期:2021.6.19 (土) -8.15 (日) 会場:展示室 2 観覧料:無料

●10 Mame Kurogouchi

会期: 2021.6.19 (土) -8.15 (日) 会場:展示室 3 観覧料: 一般 500円、高校生以下又は 18 歳未満無料

お問い合わせ・資料リクエスト先

長野県立美術館 (旧長野県信濃美術館) 広報・マーケティング室

TEL: 026-232-0052 / FAX: 026-232-0050

E-MAIL: nam-pr@naganobunka.or.jp

URL: https://nagano.art.museum/